

秋晴れのなか、福山市のホロコースト記念館および人権平和資料館へ研修視察に行きました。差別や偏見を無くし、平和を実現するために私たちにできることは何かを考え、心に深く刻む一日となりました。



ホロコースト記念館

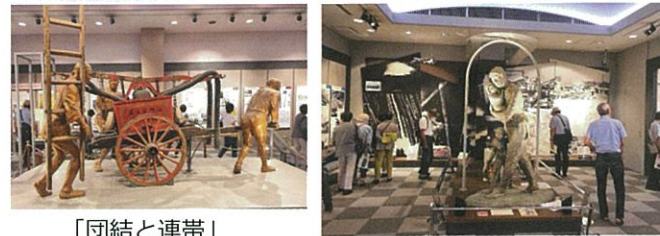
福山市人権平和資料館



子どもたちのボランティアグループ「Small Hands」からアンネのバラの苗木をいただきました。命の尊さと平和を願うシンボルとして公民館で育てていきます。



「母子三人像」



「団結と連帯」



豆知識

ホロコースト記念館は福山市御幸町にある、ナチス・ドイツによるホロコーストについての博物館です。1995年に開館し、2007年には新館が建造されました。アンネ・フランクの隠れ家の部屋や日記の再現をはじめ、ホロコーストの歴史を伝える展示が行われ、そのための文献資料なども備えられています。敷地内には、アンネ・フランクが隠れ家から見ていたマロニエの若木が植えられているほか、「アンネ・フランクの形見」と名付けられたバラが植えられているバラ園があります。また、2017年から、ユダヤ難民を救出した外交官「杉原千畝コーナー」を新設しています。

豆知識

福山市人権平和資料館は、福山市丸之内にある「人権を尊重することは世界平和の基礎」という『世界人権宣言』の精神をメインテーマとする資料館です。人権の尊重・確立と恒久平和実現の重要性の理解を広めること、および昭和20年の福山大空襲を後世に伝えることを目的として、1994年8月30日に開館しました。

参加者の感想

- ホロコースト記念館では、ユダヤ人に対する迫害などについて詳しく知ることができました。歴史から学ぶべき事は大きいと実感しました。人権資料館でも、改めて平和の大切さについて考えることができました。
- 今回の研修で、当時のことや関わった人々の様子、起きた出来事について詳しく知ることができました。苦しい体験やあってはならないことが実際に起きていたという事実を、貴重な資料を通して感じる事ができ、息の詰まるような思いで話を聞きました。どちらも説明して下さる方がとても熱心で、丁寧に話して下さる姿に、私達自身もこれらのことをしっかり受け止めて、伝えていかなければならないと思いました。
- 今も世界で戦争が続いています。一人ひとりが平和を願い、行動を起こしていかなければならないと、改めて感じました。今日の研修内容を身近な人に伝えていきたいと思えます。
- 平和の為に自分は何ができるかと、今からでも考えて行動したいと思いました。
- 世界の人類が穏やかに暮らせる世の中になるよう、祈らずにはられません。



多津美中学校区のテーマ

人権を大切にしよう 明るい地域をつくりましょう

今年度の重点課題

あたたかく思いやりのある人の輪 つなごう・ひろげよう



6/10
(土)

多津美公民館にて、令和5年度多津美中学校区人権学習推進委員会総会を開催し、令和5年度の事業計画案や予算案などが承認されました。今年度もテーマ及び重点課題のもとに、地域の皆様と共にふれあい・交流活動等さまざまな活動を実施してまいります。



会長挨拶



多津美中学校区の皆様、平素は当会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和5年度、会長に就任いたしました浮田敬之です。稲田前会長同様、格別のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

コロナ禍の数年間で、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、中国と台湾の緊張も高まっています。また報道等で LGBT 関連のニュースが多く取り上げられるようになっていたり、性的マイノリティの人たちを取り巻く考え方が変化したりしたのもこの時期です。

私たちの社会は常に変化しており、新たに学ぶべき人権問題も少なくありません。今年度になって新型コロナウイルスが「5類」に移行されたことにより、当会も4年ぶりに対面での総会を開催することができました。お互いに集まれる時には直接意見を交わすことも大切だと思います。当会では、「人権を大切にしよう 明るい地域づくり」の実現のために、様々な研修活動や交流活動を開催しております。地域の皆様にも引き続き当会の活動にご参加をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



多津美中学校区
人権学習推進委員会
浮田 敬之 会長



「片づけで叶う、家族も私も心地いい暮らし」

整理収納アドバイザー おおもと まさこ 氏



参加者の感想

- 家をごちゃごちゃしていると、心おだやかでいられないという経験は何度もしています。自分1人で自宅の片付けをするのではなく、家族をまき込んで実施していきたいです。分かりやすくお話ししていただき、ありがとうございました。
- 「きれいとは連鎖する」これが一番モチベーションを上げる言葉になりそうです。お会いしたかった大元さんの講演を聞くことができ嬉しかったです。
- 片付け方のポイントがわかり、とてもためになりました。整理収納ピラミッドの順に少しずつしていけば、無理なくできるかと思います。
- プレゼントやお土産品など、捨てることがなかなか出来ませんが、少しずつやってみようと思います。

「子どもの自己肯定感を育む大人のかかわり」

～大切な子どもたちへ・・・素敵な贈り物～

NPO法人 子ども達の環境を考えるひこうせん 代表理事 あかさこ やすよ 赤迫 康代 氏



参加者の感想

- 見方を変えると、これはこういう事かと良い方に考えられる事を改めて感じる事が出来ました。
- 子どもの心の発達には甘えと自立の繰り返しが必要なことなのだと思います。
- 子どもの良い所も悪い所も認めて、苦手な事を前向きに取り組んでいきたい。
- 自己肯定感がゆらいでしまう時期があって、その時大人はその子を大切に、その子を尊重してあげる事が大事なんだ、ということが心に残りました。
- これからは、言葉も気持ちもプラスの方へ考えたいと思います。



「落語を愉しもう ～江戸落語から学ぶ～」

しょうかいてい きっす
岡山おもれえ会 副会長 笑皆亭 口口 氏



県内外で活躍されている笑皆亭口口氏をお招きし、人権教育講演会を開催しました。齒に衣着せぬ江戸落語や、三味線奏者の藤本刃七氏による端唄を通して、人と人との関わりや会話の大切さについて考える機会となりました。



参加者の感想

- 日本の古典芸能に生で同じ空間でふれることが出来て良かったです。
- 江戸落語ははじめてでした。テンポがあって面白かったです。みんなで聞くことの楽しさが良かったです。
- とっても涼しい会場で、灼暑や日常のうさを忘れさせてくれる楽しい講演でした。子供の頃にはとても怖かった番町皿屋敷も、現代風にアレンジされ、落語家の巧みさを痛感しました。端唄は初めてで、お座敷遊びの粋を感じました。至福のひとつときをありがとうございました。
- コロナの時代の閉塞感をやっと忘れたような良い時間になりました。三味線の端唄は初めて直に聞かせていただきました。粋な空気感の体験でした。落語もテレビくらいしか聞くことがないので、目の前の落語にしばし引き込まれました。心もゆるんで楽しい時間になりました。
- 人間関係の基本であるのは面対応の話し合いであることを、落語から学びました。今後はスマホでのメールやラインよりも、話し合いを心掛けるようにします。
- 生で落語や三味線を聞くのは初めてで楽しませていただきました。同じ時間・同じ空間で共に作り上げるということがしばらくできなかったけれど、改めて大切なことだと思いました。



多津美中学校区の広報紙「優」で、たびたび登場する、このキャラクターをご存知ですか？

平成 18 年に多津美中学校の全生徒にイラストの募集をしてキャラクターのデザインが決定し、平成 22 年には一般・小学生・中学生合わせて約 970 人の応募の中から、キャラクターの名前が「こころ」に決まりました。今では、多津美中学校区全域で、皆から愛される人権啓発キャラクターとして登場しています。

みなさん、これからも末永くよろしくお願いいたします。